

かわい まゆ せんせい かなが わけん すいせん う を受けて、 れいわ ねん がつ から JICA (こくさい きょうりょく きこう) の せいねん 海外協力隊の一員として、ザンビア共和国に派遣されています。

まゆ先生のザンビアうるるんにっき 28



“Tulesekela mwaka upya!” (トゥレセケーラ ムワカ ウピヤ、 Happy New Year、
明けましておめでとう。(ベンバ語))

ザンビアに来て一年半が過ぎ、二大現地語の「ニャンジャ語」と「ベンバ語」
を聞き分けられるようになってきた川井です。(もちろん、内容は理解して
いません。)



2024年はニャンジャ語の挨拶で始まったので、2025年はベンバ語にしました。

新年を迎え、ザンビアでは新しい年度が始まりました。今年もみのりの多い年にしてい
きたいと思っています。



帰国まで残り2ヶ月を切りましたが、ザンビアやアフリカのことをまだまだ発信してい
きますので、引き続きよろしくお願いします。

今年も雨季の雨は少ないようで、未だに首都ルサカでさえ、ほぼ毎日停電しています。電力事情は良
くありませんが、日本よりもザンビアの方が便利だと思うこともあります。

その一つが携帯サービスです。



ザンビアの携帯事情

ザンビアには、Airtel、MTN、Zamtel が通信サービスを行っています。(日本で
いう docomo や au にあたります。)

携帯を使いたい時は、まず空港やショッピングセンター、町中にあるボックスな
どの店舗で SIM カードを購入し、通信料(通話やインターネットの料金)を支払
います。



日本では、毎月使った分だけ通信料を支払いますが、ザンビアでは事前に必要な
分を購入し、足りなくなったら追加で購入します。

通信料には、次のようなものがあります。

「トークタイム(または、エアタイム)」は通話やデータなど幅広く使えるもの、
「バンドル」はインターネットの料金、「ボイス」は同じ通信会社を使う際の通話
料金(Airtel を使っている人が Airtel を使っている人に電話をかける、など)。

なじみのない言葉に、最初は何をどれだけ買ったら良いのか混乱しました。

現在、私は毎月65GB ほどバンドル(インターネット)を購入していますが、
金額は K350 なので 2000円ぐらいです。SIM カード自体も K5 (約30円) なので、日本と比べると、
かなり安い。

Balances	
AIRTIME	0 ZMW BONUS: 0
DATA	966.01 MB BONUS: 0
VOICE	0 MIN BONUS: 0
SMS	0 SMS BONUS: 0
See More	
Buy	

ちなみに、097や077で始まるのが Airtel、096はMTN、095はZamtelなど、番号で通信会社がわかるのも日本と違うところです。

また、ザンビアでは、通信会社が行っているモバイルマネーのサービスが普及しています。

日本では、キャッシュレス決済としてsuicaやPASMOといった交通系ICカード、PayPayやLINE



PayなどのQRコード決済などがありますが、ザンビアでは、「エアテルマネー」や「モモ」といったモバイルマネーがよく使われます。



モバイルマネーも交通系ICカードと同様、事前にお金をチャージして利用します。携帯の通信料を購入するのにも使えますし、それ以外にも、買い物や飲食店、タクシーやバス、公共料金の支払いなど、幅広く使われています。

特に地方では、クレジットカードよりも使えるお店が多いので、現金をあまり持っていない時に大変便利です。

お店に現金がない時は、モバイルマネーでお釣りを受け取ることもあります。

個人の送金でも活用されており、友人とレストランに行った後、割った食事代をエアテルマネーで送ることや、銀行口座はないけれど、モバイルマネーはあるので、そちらに送金してほしいという話もよく聞きます。ちなみに、モバイルマネーは、銀行口座のように、チャージしたお金を引き出すこともできます。

従来迎ってきた技術発展段階を経ずに、最新技術が普及する現象を「リープフロッグ現象」と呼びます。

日本では、固定電話→携帯電話→モバイルマネーの普及という段階を経ましたが、ザンビアでは固定電話の普及前に、携帯電話やモバイルマネーが普及しました。

ザンビアに限らず、アフリカの多くの国で、このような現象が起こっています。



最新のサービスに、いつでも、どこでも、誰でも利用できる反面、「セキュリティ面は大丈夫？」という声もあります。

どうしても自己責任になってしまうので、私は、デビットカードやクレジットカードと併せて、日々活用しています。

先日、ルワンダに行きました。

ルワンダではザンビア以上にモバイルマネー（とりわけモモ）が普及している印象でした。ルワンダのこともお話しする機会があると良いのですが・・・

次回はザンビアのゴミ事情をお届けする予定です。

(2025.1.19 川井 真由)